

## (6) 国民生活

VTR 番号	題 名	内 容 等	時間 (分)	対 象	購入 年度
31	現代社会と人権 ～同和問題を考える～	差別の歴史的過程を追いながら、社会に発生している様々な差別にも目を向け、広く人権問題として考えるもの。	20	青少年	S61
296	へんてこなボランティア	文字の読み書きが出来ず、家族との交流も無い90歳のよねお婆ちゃん。あるきっかけで中学生の二人が文字を教えることになる、そして…	46	小学生～ 一般	H6
323	友情のキックオフ	子供たちの純粋な心には、もともと差別などという意識はありません。大人達の不用意な一言や、態度が、間違った認識をうえつけてしまうのです。望ましい真の友情とは…。	27	小学生～ 中学生	H7
324	三人兄妹	同和問題への理解の程度の差はありますが、若い人たちが、自らの考えをぶつけ合っていくことで、事態に前向きに対処し差別の壁を見事に克服した物語。	43	一般	H7
347	輝ける日々へ	希望に胸をふくらませ、社会へ飛び立とうとする少女の前に、差別の厚い壁が立ちふさがる。 本人の能力・適性以外のことが採用の基準にされた場合…。	42	青年～ 成人	H7
349	転校生	大人の誤った考えが、子供たちに影響しそのため子供たちの間に『いじめ』がおこる。子供たちの健全育成には、学校、家庭、地域社会の協力が大切であることを気付かせます。	54	中学生～ 一般	H7
402	根雪とける頃	息子の結婚をめぐって家族や周りの人々が織り成す人間模様を通して、同和問題に対する偏見や差別意識や世間体をなくし、一人ひとりの人権が守られていくにはどうすればよいか？	47	高校生～ 一般	H8
514	「人権教育のための国連10年」と同和 教育	戦後同和教育の歩み・同和教育の実践・部落の識字運動・人権教育の試み・多文化教育と人権『人権教育のための国連10年』とは…。	55	中学生～ 一般	H10
524	共に生きる	身近なボランティア活動を行う、ある母親とその娘に焦点を当て、母親の行動を見つめていくうちに、ボランティア活動の真の意味あい目覚めていく。共に生きるという精神が、いかに大切かを考えていく。	18	中学生～ 一般	H10
531	雨あがり	銀行に勤める若者が同和問題に直面、差別したことを悔やみ苦しむ元銀行員の柴田と、差別を受けた鶴田の関係を通して、上司の間違った考え方を正していく人権・同和問題啓発映画…	55	中学生～ 一般	H10
613	旅立ちの夏	香川県教育委員会企画 職業差別を中心テーマとして、『全国高等学校統一要旨』や『香川県部落差別事象の発生の防止』を目的に制作。	49	中学生～ 一般	H11

VTR 番号	題 名	内 容 等	時間 (分)	対 象	購入 年度
621	そして出発	差別による心の傷を抱えた二組の夫婦の交流と葛藤を中心に、人間としての誇りと偏見という垣根を取り払うことの大切さ、同和問題を初めとする様々な人権問題について描きます。	54	成人～ 一般	H11
622	表現からみた差別意識	差別用語。その用語さえ使わなければ良いのだという風潮がある。しかし、差別表現はそのもとにある差別意識の反映。問題の本質を知り、意識構造を明らかにする必要性を伝えます。	30	青少年～ 一般	H11
699	誇り高き男	たった一つの価値観にすがって生きてきた一人の青年の『ひよわな自尊心』自尊心の意味を考え、他者もまた同じ自尊心を持つ存在であることを理解し、偏見・差別について考える。	56	青少年～ 一般	H12
704	子供からのメッセージ (今・わたしたちから)	学校や自治会における学習の様子や具体的な差別事例をおりまぜながら、中学生の純粋な目を通し、部落差別の持つ不合理さや大人を持つ偏見・間違った考えを改めることの大切さを学ぶ。	18	教師～ PTA	H12 寄贈
712	おーい！	自分と違った環境にある人に対する無知や無関心、日本特有の部落差別、部落に対する偏見、これは、実際に起きた企業での差別調査事象をもとに、上下関係・友人関係を描きます。	45	教師～ PTA	H12
737	心のメガネ曇ってませんか？	障害の有無・服装・家柄・無意識のうちに私たちの行動を左右する一方的な思い込みや偏見を紹介します。	20	成人～ 高齢者	H13
750	メール	身に覚えの無い中傷や同和地区出身であるなどと、ネット上の掲示板に書き込まれた女子高校生の、精神的苦痛いわれのない非難、一方では親友への自責の念に落ち込む主人公が、同級生や仲間の応援、両親や周囲の大人達の支えで、自ら立ち直っていく姿を描きます。	54	中学生～ 一般	H13
792	風かよう道	差別を生み出す六曜や占い・世間体古い因習とコンピュータを悪用した人権侵害・家庭内での同和問題を描きます。	35	青少年～ 高齢者	H13
793	トモダチ	国際交流を通じ、アジアの国の現状を知り、相手によって態度を変えるという誤った見方や偏見について考えていく。	31	小学生～ 成人	H13
794	風と大地と梨の木と	男にも、女にも一度きりの人生、共に生きる。あの人は、私という人間を一度も認めようとはしなかった。これまでの人生を見つめ直したいと言う。尊重しあうことの大切さを描きます。	54	女性～ 高齢者	H13
875	渋染一揆	岡山県における歴史的事実である渋染一揆。身分制の中、服装などにまで加えられようとした差別政策に対して、人々が団結して立ち上がり人間としての誇りをかけた要求とは…。	15	小学生～ 中学生	H14

VTR 番号	題 名	内 容 等	時間 (分)	対 象	購入 年度
876	人の世に熱と光を	1922年 日本で最初の人権宣言といわれた『水平社宣言』人は何故平等になれないのか。何故尊敬し合えないのか。水平のもののさしの見直しの核心を描いた作品。	26	青少年～ 一般	H14
877	川の約束	豊かな自然をたたえる江の川の流域には、差別とたたかいながら知恵と技で築いてきた川漁師の姿を通して、地域を支える文化や生きざまを描きながら、部落差別の問題を考えます。	29	青少年～ 一般	H14
878	元気をありがとう	子供同士の喧嘩に大人達が、心無い言葉を口にしてしまい差別や偏見を増幅させていく、お互い心を通い合わせるには…日々悩みながらも一生懸命生きることの大切さを訴えます。	53	青少年～ 一般	H14
924	しっばい いっばい もいっかい	森の子供音楽会で大失敗。先生は『失敗は成功のもとよ』ってなぐさめてくれたけど、失敗のした事のない子はカンカン、もう一度やり直す勇気を持ってやりとげる力を養って欲しい…。	17	幼児～ 小学生	H15
925	きいちゃん私、うまれてきてよかった！	身体に障害を持った妹が姉の結婚のお祝いに、一針一針心をこめて浴衣を一人で縫い上げた。結婚式のお色直しで入って来た姉が着ていたのは…妹は私の誇りですと紹介。	21	小学生～ 家庭一般	H15
935	夢、空高く	自治会で行われる凧あげ大会準備の中で、親子の自立問題、人権問題、人それぞれが自分らしく生きる事はどういう事が必要か。心と心の通いあいを描きます。	41	小学生～ 一般	H15
936	Meet the ヒューマンライツ 若者たちが出会った人々	6人の若者が、児童虐待・精神障害・多様な性・ハンセン病患者・HIV感染者等、当事者の人との出会いで自分自身の問題とし、彼ら自身の言葉で描くドキュメント。	27	青少年～ 一般	H15
937	み～つけた！	思ったことをうまく表現できない子、どうせ自分なんか…と劣等感を持ち疎外感の中で孤立していく、集団生活の中で自己の存在感や相手の存在感を認め合う大切さを描く。	18	小学生～ 中学生	H15
938	ひかり	インターネットで知り合ったサクラと同じ高校に転校してきた公平は、サクラを探しネットのチャット仲間相談し、いつのまにかサクラを部落出身と決めつけ中傷する。そして思いがけない事実が…。	50	中学生～ 成人	H15
987	そっとしておけば 寝た子を起こすなという考え方	(そっとしておけば自然と差別はなくなる)という考え方は、根強く存在しています。部落差別の解決にとって、古くて新しい課題です。考えること、話し合うことを大切にしました。	36	青少年～ 一般	H16
988	きつねのかんちがい	奈良地方の民話を題材に、私達の日常生活の中で、かんちがい、思い込み、決めつけ等によって争い、憎しみ、相手を傷つける事がよくあります。自分の意見をはっきり主張して行動する人間であってほしいと願いを込めて制作。	28	小学生～ 一般	H16

VTR 番号	題 名	内 容 等	時間 (分)	対 象	購入 年度
1017	風の旅人	人間社会の共通ルールは「人に迷惑をかけるな」である。しかし、障害者は、絶対にかけてはならない迷惑、かけたくない迷惑、許される迷惑、かけたほうがいいのかも迷惑。本当の自立とは、他者の力をどれだけ借りられるか、「手伝って」あるいは「助けて」の一言が素直に出れば、どれほど世界が広がるか計りしれない。	30	中学生～ 高校生	H16
1089	いつもこころにほほえみを	“暮らしの中の小さなドラマ”に見える人権に加え、ありふれた出来事の中にも確かにある、生きる歓びを再発見してもらえたら…そんな思いを込めながら、人として生き合うことの大切さを大人と子どもが話し合えるようやさしく描いた小作品集です。 1つめのお話 さっちゃんとえっちゃん 2つめのお話 のらねこミーシャ 3つめのお話 せかいのやくそく	24	幼児～ 一般	H18
1102	プレゼント	子どもたちに、身近な問題であるいじめについて考えてもらうことにより、自分の人権の大切さに気づき、さらに自分と同様に他の人の人権も大切であることに気づいてもらうために作られた人権アニメです。	17	小学3年生 ～ 4年生	H19